

いばらきキャンプの取組みについて

茨城県の課題

- 冬季における観光資源の磨き上げ
- コロナ後の反転攻勢・他地域との差別化

本県の強み

- ①多様な自然（海・山・川・湖）
- ②食材の宝庫（全国トップクラスのシェア）
- ③首都圏からの近接性
- ④冬は寒くなりすぎず、雪も降りにくい。

いばらきキャンプ

本県の優位性を活かした
キャンプを切り口にした取組み

これまでの取組み

▲ キャンプ場情報ポータルサイト「いばらきキャンプ」の開設

- ・「情報発信」「キャンプ場検索機能」「予約機能との連動」により、興味⇒選択候補（情報を比較）⇒行動（予約）に繋げるサイトを構築。



▼ キャンプ場ポータルサイト「いばらきキャンプ」

▲ 大型キャンプイベントの開催（IBARAKI CAMP AUTUMN FESTA2022）

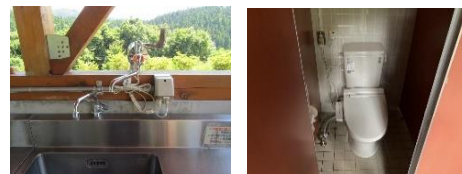
- ・キャンプ場やアウトドアショップ、アクティビティ事業者が多数出展。
- ・県内事業者間の新たな連携の場にもなった。



▼ IBARAKI CAMP AUTUMN FESTA 2022

▲ 公設キャンプ場の利用環境の向上

- ・「キャンプ場利用環境レベルアップ支援事業」により、公設キャンプ場のサニタリー設備などの改修を支援。



▼ お湯が出る炊事場 ▼ 和式トイレの洋式化

▲ 県内アウトドア事業者との連携

- ・県内アウトドア事業者の交流会「いばらきキャンプサミット」と連携
- ・民間事業者独自の取組み（スタンプラリーやキャンプの教科書）の実施

いばらきキャンプの取組みについて

これからの取組み

アウトドアを一過性のブームとして捉えるのではなく、アウトドアを文化として、継続的な観光コンテンツを磨き上げていくため、新事業や新サービスの創出や新たなコンテンツの造成など、柔軟な発想による取組みを推進していく。

▲ アウトドアビジネス推進事業

- ・ 県内遊休施設等のアウトドアフィールドとしての利活用
- ・ アウトドア事業者と異業種とのマッチングの場を設け、新事業・新サービスの創出を促す。

▲ 茨城デスティネーションキャンペーンの開催

- ・ 「アウトドア」「食」「新たな旅のスタイル」をテーマにした「デスティネーションキャンペーン（DC）」が本年秋に開催。
- ・ アウトドアなどの本県の強みとなるコンテンツのPRを行っていく。

▲ 体験王国ツーリズム創出支援事業

体験王国ツーリズム創出支援事業について（概要）



体験王国ツーリズム募集!

- アウトドアフィールドを活用した取組みを募集します -



- 本県のアウトドアフィールドを活かした滞在型の体験コンテンツ等によるツーリズムを**募集**。
- 採択された事業（実証事業）には、最大**300万円**の支援金を支給。
- 実証事業を通じて、次年度以降の自走化を目指す。

体験王国ツーリズム創出支援事業について（概要）

1 事業概要

（1）目的

茨城県では、ポストコロナにおける観光戦略として、本県が有する多様な自然環境、豊富な食材、首都圏からの近接性を活かしたキャンプやサイクリング等のアウトドアを核とした誘客を進めている。

そこで、他地域との差別化を図り、新たな需要獲得を進めるため、本県のアウトドアフィールドを活かした滞在型の体験コンテンツ等によるツーリズムを実証事業として幅広く募集し、その実現に向けた支援を行い、誘客を促進することで観光消費額の増加を目指します。

なお、採択された事業については、県内のアウトドア事業者や地域事業者と連携し、自走化を想定した実証事業として取り組むこととします。

（2）事業内容

ア 民間事業者等が実施する、本県のアウトドア資源等を活かした滞在型の体験コンテンツによるツーリズムを「体験王国ツーリズム実証事業」として認定し、実施に係る経費を支援します。

イ 実証事業の実施に当たっては、**テーマ**を設定したうえで、事業主体となる団体等を募集します。

ウ 実証事業を通じて、地域のアウトドア事業者や地域事業者等を巻き込み、本県の自然環境などを活かした話題性のある取組みを提案し、事業の自走化を目指していただきます。

エ 令和6年3月29日中に完了する事業を対象とします。

体験王国ツーリズム創出支援事業について（概要）

（3）基本的な考え方

ア アウトドアフィールド

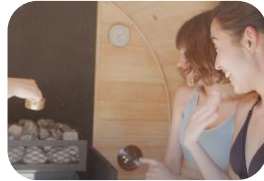
本県の代表的なアウトドアフィールドとして、「山・海・川・湖」の4つに分類していますが、その他のフィールドでの提案を妨げるものではありません。本県の誇る豊かな自然を活かせる野外のフィールドでの企画を提案してください。



その他

イ アクティビティ

アウトドアフィールドにおいて、より自然に触れ、魅力を体感することができるのがアクティビティです。本県の強みであるキャンプ、サイクリング、トレイル等をテーマとして挙げておりますが、記載以外で、フィールドを活かせるアクティビティがあればご提案いただいております。



その他

体験王国ツーリズム創出支援事業について（概要）

ウ 体験王国ツーリズム

本県では、令和5年10月～12月に「体験王国いばらき」をテーマに掲げた、茨城デスティネーションキャンペーンを控えており、実証事業は、アウトドアを核とした本県ならではの滞在型コンテンツ等によるツーリズムとして、「体験王国ツーリズム」と称し、押し出していきます。



▲旅行会社向け観光素材集への掲載

○デスティネーションキャンペーンについて

JRグループ6社(JR北海道・JR東日本・JR東海・JR西日本・JR四国・JR九州)と地域(県・市町村・地元観光事業者等)が一体となって、開催地での魅力的な観光資源の紹介、イベント開催やおもてなしの取り組みについて、JRグループ6社の宣伝媒体を活用した集中的な宣伝を全国で実施する国内最大規模の観光キャンペーンです。

茨城県での開催は、平成14年以来21年ぶり3回目、秋期の開催は初めてとなります。

体験王国ツーリズム創出支援事業について（概要）

（４）支援内容

- ア 対象事業 アウトドアを核とした滞在型の体験コンテンツやツアーなどの造成
- イ 支援額 実証支援金として、限度額3,000千円/件を支援
- ウ 採択件数 最大4件
- エ 応募方法 企画提案方式（コンペにおいて、別途定める審査委員会で採択事業を決定。）

（５）スケジュール

- ア 事業採択後、別途定める支援金交付要綱に基づき、速やかに支援金の交付申請をしていただきます。
- イ 事業実施期間は、支援金交付決定後から令和6年3月29日までとします。

	時期	内容
令和5年	6月14日（水）	公募開始
	6月21日（水）	公募説明会
	7月14日（金） 17時	公募締切
	7月25日（火）	1次審査の結果発表
	7月26日（水）～8月1日（火） の土日を除く、いずれか1日	最終審査コンペの開催
8月4日（金）以降	採択事業の発表 交付申請/交付決定 ⇒ 事業開始 中間報告・ヒアリング	
令和6年	3月29日（金）	完了報告書提出期限

体験王国ツーリズム創出支援事業について（公募の要件）

2 公募の要件

（1）提案者及び実施体制

- 提案者は、民間事業者や市町村、観光振興に取り組む団体、協議会など本事業の主体となる団体とする。
- 実施体制について、市町村自治体や、観光地域づくり法人（DMO）、観光協会、民間企業等、広く地域内の関係者との連携を行うこと。

（2）取組内容

実証事業として、関連事業者と連携しながらテーマに沿った以下に関することに取り組んでいただきます。

- ア 本県のアウトドア資源（多様なフィールド、アクティビティ）や食資源を活かした話題性のある滞在型の体験コンテンツの造成。
- イ 既存コンテンツの組み合わせ、又は新規コンテンツの追加による自然体験型ツアーの造成。
- ウ 受入側におけるアウトドアを活用した新サービスの提供。
- エ 本事業終了以降、継続的に実施することを前提とした取組みであること。

○想定する実証事業の例

- 季節の特徴を活かした、体験型ウォーターアクティビティの実施
- e-bikeと山間地域のグルメを巡るヒルクライムイベントの実施
- ストーリー性を重視した地域密着型のトレイルツアーの実施
- ICT等を活用したアウトドアと地域をシームレスにつなぐ仕組みの構築・実施
- 大自然の中で体験するサウナと地元飲食店と連携したサウナ飯の提供
- ロケ地を活用したサバイバルゲームや鬼ごっこイベントの開催

体験王国ツーリズム創出支援事業について（支援対象経費）

3 支援対象経費

（1）支援対象となる経費

項目	内容
人件費	事業実施に必要な人員への賃金等
報償費	事業実施に必要なアドバイザー、専門家等への謝礼等
旅費	事業実施に必要なアドバイザー、専門家等に対して支払う旅費
需用費	各種消耗品費、ポスター等の印刷製本費
役務費	郵便料等の通信運搬費、イベント保険料
委託料	事業実施に必要な委託料
工事請負費	事業実施に必要なインフラや改修工事等に要する経費
使用料	会場等の借上料・使用料、備品や資機材のリース料

体験王国ツーリズム創出支援事業について（支援対象経費）

（２）支援対象外となる経費の例

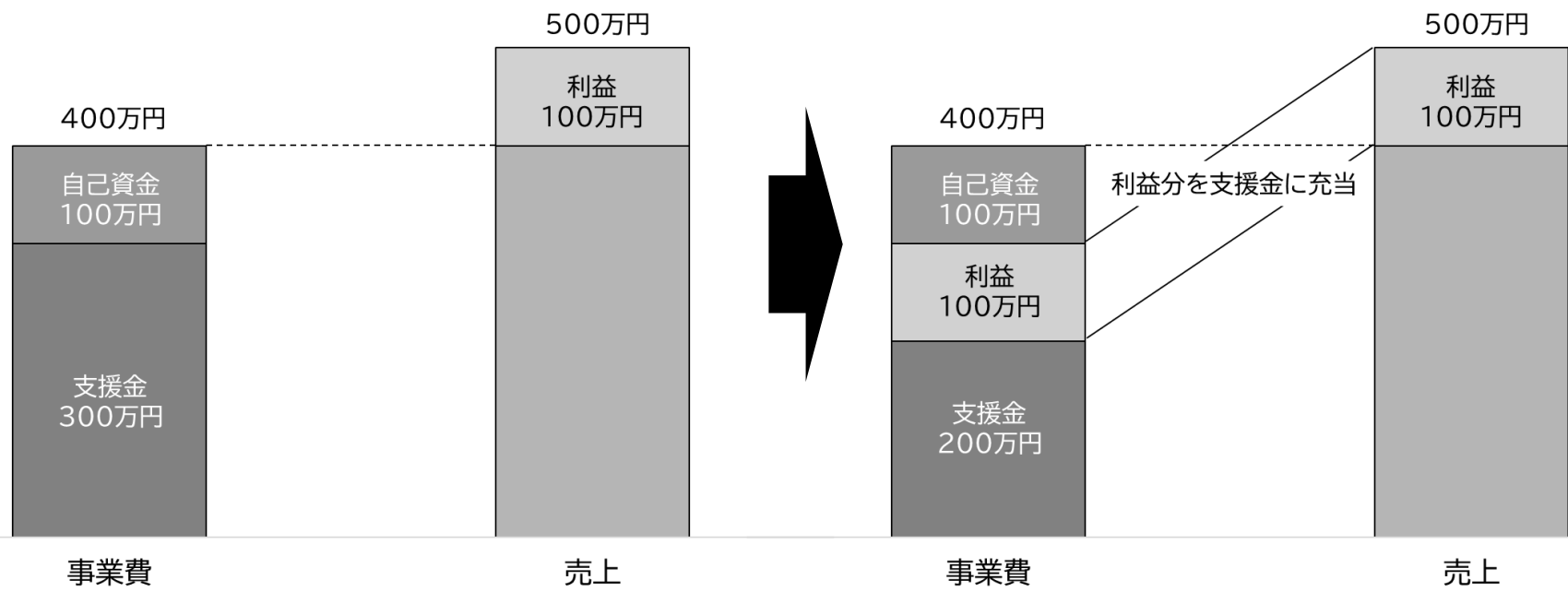
- ア 本事業に直接関係のない経費
- イ 本事業の採択前に生じた経費
- ウ 申請者における経常的な経費（事務所等に係る家賃、保証金、敷金、仲介手数料、光熱水費、通信料費 など）
- エ 国又は県等により別途、補助金等が充当されている経費、もしくは充当が予定されている経費
- オ 施設や設備の整備、備品購入自体を主たる目的とする経費
- カ モニターツアーなどに係る個人への旅行代金の支給（交通費、宿泊費などの給付経費）
- キ 申請者の会食費、弁当代等の飲食費
- ク 本事業における資金調達に必要なとなった利子

体験王国ツーリズム創出支援事業について（支援対象経費）

（3）収益納付

事業期間内に、支援対象となった事業費に対して、当該支援対象となった体験コンテンツ・イベント等が直接的に生み出した売上が上回った場合、上回った利益分について、事業者と調整後に支援額から減額します。

例) 事業費400万円、売上500万円となった場合



事業費400万円の内、支援金として充当した300万円から事業費を上回った利益分100万円を減額し、200万円を支援金として支給します。

体験王国ツーリズム創出支援事業について（事業完了の報告等）

4 事業完了の報告等

- 事業期間の中間時に、実施事業者に対してヒアリング等を実施し、進捗状況等を確認します。
- 事業者は、実証事業が完了した日から起算して30日以内又は、令和6年3月29日のいずれか早い日までに、実績報告書に関係書類を添えて提出してください。

○伴走支援について

実証事業実施者は、専門家による販路拡大やプロモーションのアドバイスが受けられますので安心して事業を進めることができます。なお、伴走支援に対する費用は発生しません。

体験王国ツーリズム創出支援事業について（事業の選定）

5 事業の選定

（1）選定方法

ア 1次審査

県において、提出された書類を評価項目に基づき審査し、決定します。

イ 2次審査（最終審査）

プレゼンテーションを行っていただき、審査委員会において、最大4件を採択します。

（2）主な評価項目

ア アウトドアフィールドの有効活用

イ 話題性、独自性

ウ 経済効果（地元への経済効果等）

エ 実施体制

オ 継続性（レガシー）

（3）留意事項

- 最終審査に残った提案については、特設サイト上での公開のほか、マスコミ等へ情報提供する場合があります。
- 採択された事業は広報・宣伝展開について、茨城デスティネーションキャンペーンと連携して行うことを予定しています。

体験王国ツーリズム創出支援事業について（審査・申請書等）

6 審査結果の通知及び公表

（1）1次審査

- 1次審査通過者にのみ通知します。
- 1次審査を通過した事業については、特設サイト上で公表します。

（2）2次審査

- 審査結果は、2次審査対象者に対して通知します。
- 採択事業については、特設サイト上で公表します。

7 申請書等の提出

（1）提出期限

令和5年7月14日（金）17時

（2）提出物

- ア 企画提案提出書（様式1）
- イ 企画提案概要書（様式2）※最大10MB
- ウ 企画提案書（任意様式）※最大10MB/別紙記載要領を踏まえた内容としてください。
- エ 事業費積算内訳書（様式3）

体験王国ツーリズム創出支援事業について（審査・申請書等）

（3）提出方法

WEB上の提出フォームから提出してください。（観光いばらき内特設ページ）



（4）その他

- ア 書類等の作成に使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨とします。
- イ 申請書類の作成及び提出に係る費用は、申請者の負担とし、提出された資料の返却はしません。
- ウ 申請書類に虚偽の記載をした場合は、応募を無効とします。

体験王国ツーリズム創出支援事業について（質問の受付）

8 公募内容に関する質問の受付

（1）質問締切日及び回答予定日

	質問締切日	回答予定日
第1回	令和5年6月21日（水）15時	令和5年6月26日（月）
第2回	令和5年6月28日（水）15時	令和5年7月3日（月）
第3回	令和5年7月5日（水）15時	令和5年7月10日（月）

（2）質問受付方法

WEB上の受付フォームから提出してください。（観光いばらき内特設ページ）

（3）質問内容

原則として、公募内容や手続きに関する事項に限ります。

※全体や特定の事業者の応募状況に関する質問には回答しません。

（4）回答方法

WEB上で一覧形式にして回答します。（観光いばらき内特設ページ）

令和4年度の実証事業



いばらきブッシュクラフトパーク運営実証事業

実施主体：一般社団法人石岡市産業文化事業団

/石岡市ふれあいの森（花やさと山）

フィールド：山

実施期間：2022年10月8日～2023年2月28日

アクティビティ：キャンプ、ブッシュクラフト、里山体験

運営スタッフの人材育成を行い、ワークショップを提供する体制を整え、「ブッシュクラフト初級◆初めての焚火」や「森でつくる秘密基地づくり」、「森の遊び場づくり」、(株)ツムラ石岡センター協力による「植物散策ツアー」など、里山を活かした様々な体験を造成した。



冬の奥久慈トレック&キャンプ～茨城県北ロングトレイルを歩く

実施主体：株式会社ナムチェバザール

フィールド：山、川、街

実施期間：2023年1月14日～15日

アクティビティ：キャンプ、サイクリング、トレイル、サウナなど

茨城県北ロングトレイルでのトレッキングや冬キャンプ体験、サイクリングなどの要素を組み合わせ、大子地域の冬季の魅力に従来とは違う側面から捉え直し、アウトドア体験・歴史探訪・グルメなどを一体的に楽しむ、ここにしかない旅の体験を提供した。



令和4年度の実証事業



五感でととのう常陸大宮リバーサウナプロジェクト

実施主体：ストームフィールドガイド

フィールド：川

実施期間：2022年11月12日～2023年2月26日

アクティビティ：キャンプ、ブッシュクラフト、里山体験

那珂川の川辺に県産木材で作られたバレルサウナを設置し、既に提供している、カヌーやSUPなどのアクティビティとサウナを組み合わせたプランを販売した。地域産品を使ったオリジナルロウリュ等で特別感を演出し、那珂川の自然を満喫できる体験プロダクトを造成した。



阿字ヶ浦ウィンターアウトドアフェス

実施主体：一般社団法人アジラボ

フィールド：海

実施期間：2023年1月21日～22日

アクティビティ：キャンプ、サウナ



閑散期となっている冬の海岸への需要創出のため、ひたちなか市の阿字ヶ浦海岸を会場に、ビーチサウナ、焚き火、車中泊、マルシェなどを組み合わせた冬のアウトドアイベントを開催しました。また、周辺地域を360度VRで楽しめるバーチャルツアーコンテンツも制作した。